



日本の学術書をオープンアクセスにするために

天野絵里子
リサーチアドミニストレーター
京都大学学術研究支援室
<https://researchmap.jp/amanoeriko/>
ORCID: 0000-0001-6234-152X
amano@kura.kyoto-u.ac.jp

A handwritten signature in black ink, appearing to read 'Eriko Amano' in a stylized cursive script.

立ち位置

リサーチ・アドミニストレーター（URA）

- 研究支援の専門職（新しい職種）
- 図書館などの学内組織と連携して「京都大学の卓越した知の創造活動を研究者の視点に立って学問・社会を発展させる力に変える」
- 人文・社会科学系研究の支援

元・図書館員

- 京都大学、九州大学、国際日本文化研究センター
- リポジトリKURENAIを担当（1年だけ）
- オープンアクセスの推進者

研究成果の
効果的な発信

×

オープンアクセス

URAによる人文・社会科学系研究の支援

人文・社会科学系研究支援プログラム

外部資金の獲得

- ◆ **人社系ファンドの学内説明会開催**
 - ・トヨタ財団、安倍フェローシップ、三菱財団 など
- ◆ **支援スキームの確立**
 - ・RISTEX、JSPS課題設定 など
- ◆ **チーム形成支援**
 - ・学際・課題解決・産連などの企画調査 など

資源整備・成果発信

- ◆ **新刊情報ポータルサイトの運営**
- ◆ **外国語翻訳・海外出版に関する情報提供・情報収集**
 - ・アジア諸国の動向調査 など
- ◆ **人社系研究のWeb発信の検討**
- ◆ **オープンアクセス化の促進**

KURA全体の取り組みとしてもオープンサイエンスを支援

研究力の可視化

世界的に卓越した知の創造の 組織・国を超えた共有と協働をサポート

人社支援URA間の連携

- ◆ **人社アウトプット・ヒアリングのデータ分析**
- ◆ **海外（特にアジア）の研究評価動向に関する調査**
 - ・シンガポール、香港の動向調査、各国出版業界とのネットワーク など
- ◆ **H29年度 第4回人社フォーラムの取りまとめ**
 - ・報告書出版(9月)、『学術の動向』誌特集出版(10月)

- ◆ **JINSHA情報共有会** (6月 大阪大学)
- ◆ **RA協議会セッション** (9月 神戸大学)
- ◆ **第5回人社フォーラム** (3月 早稲田大学)
- ◆ **人社プログラムの紹介リーフレット作成・更新**

近日KURENAIにて公開

京大新刊情報ポータル

京大新刊情報ポータル
Publications by Kyoto University Researchers

京都大学
KYOTO UNIVERSITY

ホーム 図書一覧 ブックレビュー ニュース エッセイ このサイトについて

ピックアップ

●●●●●



ファシスト的公共性
単著 文化・宗教 社会 歴史
佐藤卓己(教育学研究科 / 著者)
/ 2018.04

理性的討議にもとづく合意という市民的公共性を建て前とする議会制民主主義のみが民主主義ではない。ナチスの街頭行進や集会、...

京大研究者の本

学術書から一般書、翻訳書、教科書、事典、漫画まで。毎月、京大研究者の新刊情報を幅広くお届けします！

【図書一覧の見方】
タイトル
図書分類、分野等
著者もしくは編者名
京大研究者（所属部局 / 役割）
出版社 / 出版年月

本ポータルは、京都大学URAによる「人文社会科学支援プログラム」の一環として、京都大学研究者の論文以外の研究成果出版物（書籍）の情報を発信し、その研究成果と研究の知見を京都大学内外に広く伝え、社会と研究者をつなぐプラットフォームとなることを目的としています。

ピックアップニュース

藤原辰史准教授らが平成30年度日本学術振興会賞を受賞
2019.01.09
受賞ニュース

「トラクターの世界史」などの著者・藤原辰史准教授らが平成30年度日本学術振興会賞を受賞されました。

「HYPOTHESIS-EXPERIMENT CLASS (Kasetu)」の編者・舟橋春彦教授が関連セッションを英国の国際会議にて開催
2019.01.04
関連イベント

「HYPOTHESIS-EXPERIMENT CLASS (Kasetu)」の編者・舟橋春彦教授が関連セッションを英国の国際会議にて開催します。

劇団衛星・運行さんによるエッセイを掲載
2018.12.25

劇団衛星代表・運行さんによるエッセイを掲載しました！

- 京大の研究者の論文は把握できるが図書は把握できない。また、効果的に広報がされていないことから企画
- 2017年以降に京大研究者が出版した書籍の情報を可能な限り網羅し、人社系に限らず掲載
- 図書館機構や京都大学学術出版会、京都大学生協と連携
- 2018年、図書館総合展シュプリンガー・ネイチャーフォーラムにて図書館との協働事例として報告
<http://hdl.handle.net/2433/236041>
<http://hdl.handle.net/2433/236040>
- 英語版を開発中！

<https://pubs.research.kyoto-u.ac.jp>

指定国立大学法人として

京都大学 指定国立大学法人構想概要

**京都大学
基本理念**

創立以来築いてきた自由の学風を継承し、発展させつつ、
多面的な課題の解決に挑戦し、**地球社会の調和ある共存に貢献する**



新たな知の創造・イノベーションの確立・未来社会への指針を示すための取組を実施

柔軟かつダイナミックな体制による知の創造	高度で多様な頭脳循環の形成	新たな社会貢献を目指す
<ul style="list-style-type: none"> ●複数の領域で世界の最先端研究をリード ●融合領域の新規開拓、強い分野の国際展開 <p>1 世界を先導する最先端研究の推進</p> <p>1) 再生医療と先端医学研究 ・人々の健康と超高齢社会における医学医療の未来創成に貢献</p> <p>2) 化学と生命科学の融合 ・広範な領域で新しい学術分野の開拓</p> <p>3) 高等研究院 ・卓越した研究者の英知が結集する国際研究ハブ</p> <p>2 On-site Laboratory ・海外の大学や研究機関等との協働による現地運営型研究室 (下図:イメージ)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center; background-color: #003366; color: white; font-weight: bold;">京都大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 共同研究 ✓ 学生の教育 ✓ 若手研究者の海外経験 </div> <div style="font-size: 2em; color: #003366;">↔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center; background-color: #003366; color: white; font-weight: bold;">海外機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 共同研究 ✓ 学生の教育 ✓ 留学生の増加 </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">↓ 現地企業等との交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●教育の一層の国際化 ●多様な人材の育成・輩出、優秀な人材獲得 <p style="background-color: #003366; color: white; font-weight: bold; padding: 2px;">学生対象</p> <p>1 吉田カレッジ (仮称) ・国内外の学生に開かれた国際学部教育プログラム</p> <p>2 卓越大学院 (仮称) プログラムによる博士人材 (「知のプロフェッショナル」) の育成</p> <p>3 GST(Graduate Student Training)センター (仮称) ・大学院生の教育研究能力向上のための全学研修体制の構築</p> <p>4 留学生リクルーティングオフィス (仮称) ・優秀な留学生の戦略的獲得の推進</p> <p>5 大学院生・留学生への各種施策の展開</p> <p style="background-color: #003366; color: white; font-weight: bold; padding: 2px;">研究者対象</p> <p>1 白眉プロジェクト ・学術領域を問わず世界中から優秀な若手研究者を獲得</p> <p>2 若手教員数の増加 ・第4期中期目標期間内に定員内若手教員比率を30%に引き上げ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●産官学連携活動を推進する体制の構築 ●これまでの学術的成果を背景とした課題解決への貢献 <p style="background-color: #003366; color: white; font-weight: bold; padding: 2px;">産官学連携</p> <p>1 産官学連携の新しい「京大モデル」 ・大学出資による機関別事業子会社設立 ①総研機能(コンサルティング・シンクタンク) ②技術移転機能 ③ベンチャー支援機能 ・ホールディング・カンパニー (特許株式会社) 志向</p> <p>2 既存の枠組みにとらわれない産官学連携の促進 「組織」対「組織」による共同研究スキームをより一層推進</p> <p style="background-color: #003366; color: white; font-weight: bold; padding: 2px;">社会への貢献</p> <p>1 日ASEANの協力関係のより一層の推進 ・包括的な学術・科学技術協力の推進により、「持続可能な開発」に貢献</p> <p>2 人文・社会科学の未来形の発信 ・国際化の推進、文理融合による新学術領域の創成</p>
世界に伍する京大流大学運営		
<ul style="list-style-type: none"> ●大学運営におけるトップダウンの方針とボトムアップの意思の調整に基づく全学的な戦略立案の必要性 ●大学独自の戦略的活動を支える安定的な自己財源の必要性 		
<p>ガバナンスの強化 1 京大版プロボストと企画調整会議 (カウンスル) (仮称) 2 国際的視野によるエビデンスベースの大学運営 (国際戦略本部 R, URA) ・執行部と部局・学系間との密接な連携調整のもと企画・戦略立案</p> <p>財務基盤の強化 1 自己収入の拡大 1) 寄附金 2) 社会人学習プログラム 3) 資産の有効活用 2 収益事業の展開</p>		

社会への貢献

- 1 日ASEANの協力関係のより一層の推進**
・包括的な学術・科学技術協力の推進により、「持続可能な開発」に貢献
- 2 人文・社会科学の未来形の発信**
・国際化の推進、文理融合による新学術領域の創成

部局・分野を横断する研究者によって「人社未来形発信ユニット」が発足。URAも協力

学術書のオープンアクセスの意義

オープンアクセスの意義：日本の研究者へ

研究者は著者でもあり読者でもある

- 著者として
 - 「単著」の価値は高い
 - より多くの、遠くの人に成果を共有したい。読んでもらいたい
 - 公的な助成金を得た研究成果の社会還元したい
 - 紙のままに放置していても儲かるわけではないので…
- 読者として
 - 簡単
 - いつでも読める
 - 印刷しようと思えばできる
 - 部分的に参照できる
 - タダ

(近い将来の) 研究者のニーズに応えられる

kuline 京都大学 図書館機構

HOME 総合利用案内 学習/研究サポート よくある質問 図書館・室一覧 開館カレンダー お問い合わせ

蔵書検索 MyKULINE 閲覧履歴 検索履歴 English

蔵書検索 論文検索 蔵書・論文+ 貴重資料画像 他大学検索 横断検索

簡単検索 詳細検索 レビュー・タグを含む

Brexit and Beyond

例: #科学,ecolog*,湯川*秀樹

絞り込み検索

資料種別

電子ブック (3)

出版年(西暦)

2018 (3)

言語

[言語名不明] Undetermined (3)

書誌検索結果一覧 1件~3件 (全3件)

全て選択 ブックマーク 出力 メール

1 **Brexit and Beyond. Rethinking the**
電子ブック OAPEN, 2018. -- (OAPEN). -- [電子資料

2 **Brexit and Beyond: Rethinking the**
電子ブック JSTOR eBooks, 2018. -- (JSTOR eBook

3 **Brexit and Beyond - Rethinking th**
電子ブック DOAB, 2018. -- (DOAB: Directory of O

全て選択 ブックマーク 出力 メール

書誌詳細 1件目を表示 (全3件) 印刷

▲ 検索結果一覧へ戻る 次の書誌 ▶

電子ブック **Brexit and Beyond. Rethinking the Futures of Europe**
OAPEN, 2018. -- (OAPEN). -- [電子資料 electronic resources].
<EB05939373>

総合評価: ★★★★★

登録タグ: 登録されているタグはありません

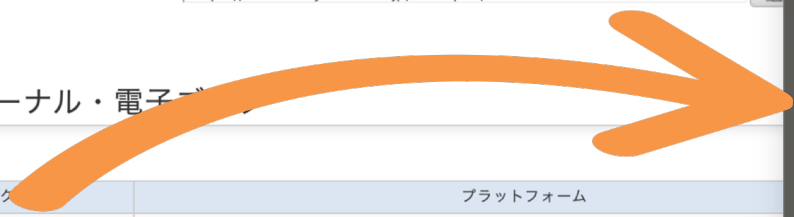
便利機能: ブックマーク 出力 メール 文献管理

▶ 目次・あらすじを見る ▶ レビューを見る ▶ 詳細情報を見る

書誌URL: 選

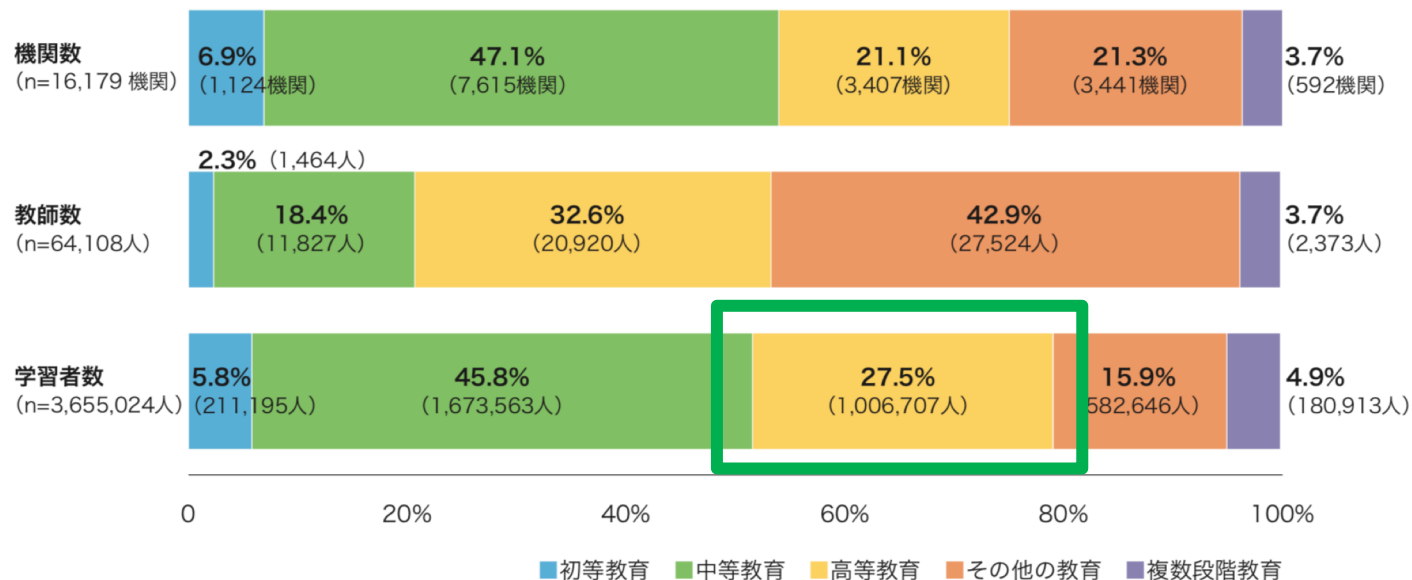
電子ジャーナル・電子ブック

リンク	プラットフォーム
9781787352759	DOAB: Directory of Open Access Books
9781787352759	OAPEN



オープンアクセスの意義：海外の日本語学習者へ

グラフ1-3-1 教育段階別機関数/教師数/学習者数の割合



高等教育レベルで日本語を学習している人は
世界中に約100万人いる



潜在的な読者に届く

高等教育での日本語の学習者数（地域別）

地域	学習者数
東アジア	783,374
東南アジア	105,098
南アジア	7,448
大洋州	8,556
北米	75,682
中米	4,361
南米	2,977
西欧	37,182
東欧	12,311
中東	2,296
北アフリカ	705
アフリカ	2,749
計	1,042,739

オープンアクセスの意義：海外の読者へ

- 地域研究の成果を地域に還元
- 著者が研究の先取権を主張しやすい
 - ・ 言語を跨いだ剽窃の予防
- 日本への関心を引き出すアクセスポイント



- ・ 海外の日本研究を専門とする研究者や図書館は、もっと日本資料が電子化されてほしいと思っている
- ・ 日本や日本語を専門としなくても、日本「も」研究する／関心を持つ学生・研究者はいる
- ・ 海外の研究機関では、電子化された資料を使った研究活動に慣れている人が多い
- ・ 日本を知り、研究するためのリソースが電子化されていない、ネットにない、検索されにくいということは、日本に関心を持つ学生・研究者を遠ざけているかもしれない



オープンアクセスになってほしい学術書とは

(「学術書」の定義がそもそも難しいが・・・)

- 商業的出版 (研究機関発のものでない)
- 査読あり

NOT

- NDLのデジコレやHathiTrustなどの著作権が切れた書籍の電子化

- 公的資金の助成を受けた研究の成果
- 出版助成を受けたもの (公的、民間問わず)
 - ・ 科研費研究成果公開促進費
 - ・ 京都大学の総長裁量経費による助成 (約40点)

公的資金の助成を受けたものはOAにすべきでは？

(ジャーナル論文では徐々に受け入れられてきている。オープンサイエンスの動きもある)

- 過去に出版され、学術的に定評があるが売れない／売る予定のないもの

これ以上利益を生まないのであればOAにしてもよいのでは？

オープンアクセスの学術書の日本の事例

京都大学学術出版会と京都大学学術情報リポジトリKURENAIとの協働

- 2008年から2012年にかけて16冊を公開
- アクセス数が多かったので改訂版を出したタイトルもある

京都大学学術情報リポジトリ KURENAI 京都大学 京都大学学術出版会

コレクションホームページ
京都大学学術出版会発行の研究書 16
(http://hdl.handle.net/2433/49762)

京都大学学術出版会が編集・発行してきた信頼性の高い京都大学の研究・教育成果を公開していきます。
京都大学学術情報リポジトリと京都大学学術出版会との連携について (2008年2月1日)
京都大学学術出版会の研究書5点を京大リポジトリで公開(第2弾) (2008年9月5日)
京都大学学術出版会「霊長類生態学: 環境と行動のダイナミズム」を公開(2012年3月13日)

ブラウズ

タイトル	著者	発行日	キーワード
分類	資料種別		

文献一覧 (発行日の降順ソート) : 1 - 16 / 16

ソート項目: 発行日 | ソート順: 昇順 | 表示件数: 20 | 更新

書誌情報

タイトル	著者	発行日
Hormone Hunters: The Discovery of Adrenaline	ISHIDA, Mitsuo	2018-09-05
Gas Transfer at Water Surfaces 2010		

最新登録資料

- Hormone Hunters: The Discovery of Adrenaline
- The fiscal administration of Egypt in the early Islamic period
- 霊長類進化の科学
- 変異するダーウィニズム: 進化論と社会
- Gas Transfer at Water Surfaces 2010

絞り込み

著者

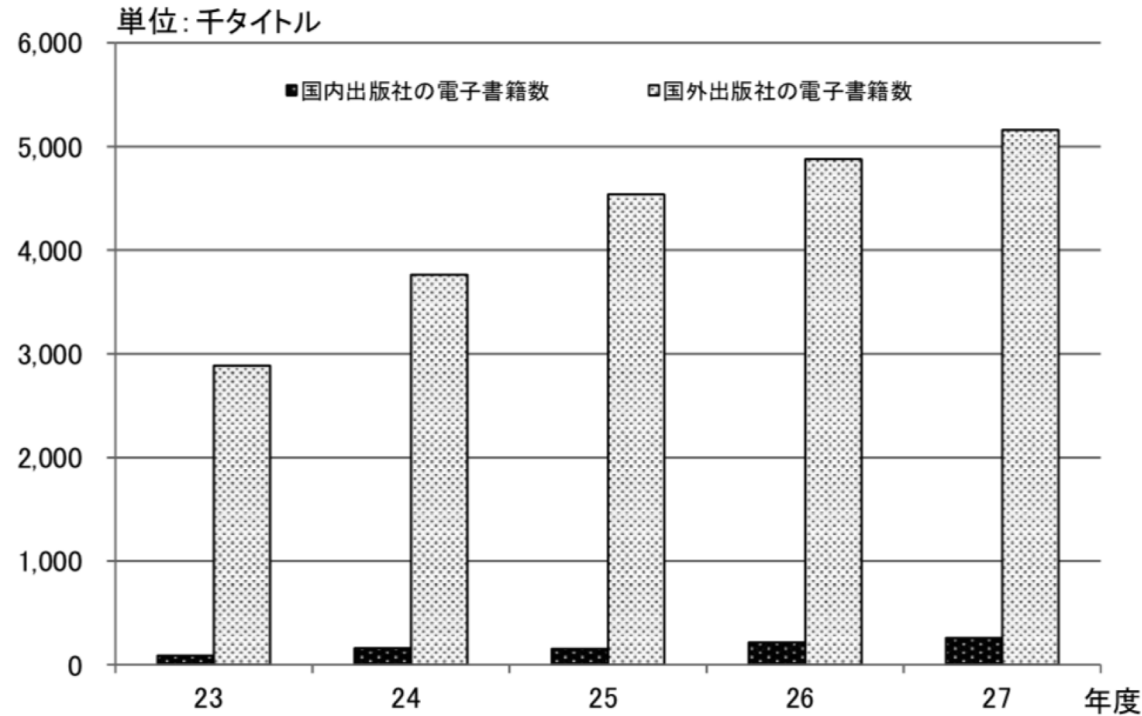
- 室山, 泰之 (2)
- Abe, A. (1)
- Akan, C. (1)
- Akiya, Y. (1)

タイトル	アクセス数
Local economy and entrepreneurship in Thailand : a case study of Nakhon Ratchasima	48,578
「会社人間」の研究: 組織コミットメントの理論と実際	20,123
Gas Transfer at Water Surfaces 2010	12,370
霊長類進化の科学	11,146
霊長類生態学: 環境と行動のダイナミズム	9,869

2019年1月27日時点

そもそも電子書籍が・・・

大学図書館における電子書籍のタイトル数（延べ数）の推移



大学図書館における電子書籍のタイトル数（延べ数）
（平成27年度）

国内出版社	256,652
国外出版社	5,414,619

国内出版社の電子書籍で、大学図書館に入れるような学術書は少ないのではないか

日本の状況の問題点

● ビジネスモデルの不在

- そもそも学術書の電子書籍が少ない
- オープンアクセスでの出版の手段がない
- 「CCライセンスで出版したかったができなかった」

著者がオープンアクセスで出版したくてもできない

海外の状況

どれぐらい／どのように普及しているか



- 307社、15,542点
- 査読あり、CCライセンス
- 英語約50%、仏語約25%、独語約10%*



Japan's Failed Revolution
Koizumi and the Politics of Economic Reform
Authored by: Aurelia George Mulgan

Buy print (\$43.00)

DOI: <http://dx.doi.org/10.22459/JFR.05.2013>

Please read [Conditions of use](#) before downloading the formats.

Download/view free formats

- PDF (10.2MB)
- PDF chapters

一般的なオープンアクセス学術書の提供モデル

- PDFダウンロードは無料
- Kindleなど他の形式でのダウンロードは有料の場合がある
- 紙媒体を買う場合は有料（Amazonなどへのリンクあり）

オーストラリア国立大学出版局の例

2019/1/29

* Tsuji, K., Statistics on Open Access Books Available through the Directory of Open Access Books, International Journal of Academic Library and Information Science, Vol. 6, No. 4, pp. 86-100, 2018.

<https://arxiv.org/abs/1808.01541>

関連する取り組み

- 著者支払い型オープンアクセス
- 大学主導の出版
- 著者主導の出版
- コストシェアリング
- 情報流通基盤
- プラットフォーム

著者支払い型オープンアクセス

BPC (Book Publishing Charge)を支払えばOAとなる

出版社	費用	OA点数
Cambridge UP	12万語までで14,500ドル（約160万円）。1千語追加するごとに84ドル	13
Oxford UP	要相談	50
Springer	50～125ページ（2万～5万語のSpringerBriefsと呼ばれる形態）で5,000ユーロ（約65万円）から要相談	436
Routledge	13,000ドル（約145万円）から	92
De Gruyter	要相談	957
Brill	CC BY-NC(-ND)の場合は、350ページまでが10,200ドル（約115万円）、以後ページごとに17ドル追加。CC BYの場合は、350ページまでが22,200ドル（約250万円）、以後ページごとに34ドル追加	251

点数は2018年12月27日時点、DOABによる

大学主導の出版

図書、雑誌（紀要）、博士論文などを大学が出版（主に図書館が担当）
既存の大学出版局からの移行も

ネットワーク

● Library Publishing Coalition

- 図書館の会員制
- 毎年フォーラムを開催（2019.5バンクーバー）
- ウェビナー、キャリアガイドなどを提供
- 名簿作成（2019に135大学）

● IFLA Special Interest Group – Library Publishing

- 2018.8 マレーシアで発足
- 2019.2末ダブリンで会議を開催

非営利なため、他で出版できないものが出版できる
研究者の最先端のニーズにこまやかに対応できる

著者主導の出版

- Open Book Publishers

- ケンブリッジ大学の研究者らが2008年に設立
- 図書館会員制度あり

- Open Humanities Press

- 2006年に設立
- 主に批判理論、文化理論研究者コミュニティによるシリーズものの出版

200部から400部の出版部数では誰も読んでいないに等しい。従来のモデルでの出版は、知の「発信」に成功しているとはいえない。つまり著者の自己満足では。



ScholarLed

コストシェアリング

- Knowledge Unlatched
- Luminos
- Open Library of Humanities

主にジャーナル。2013年のSPARC Japanセミナーで紹介

BPC (Book Publishing Charge)を支払えばOAとなる

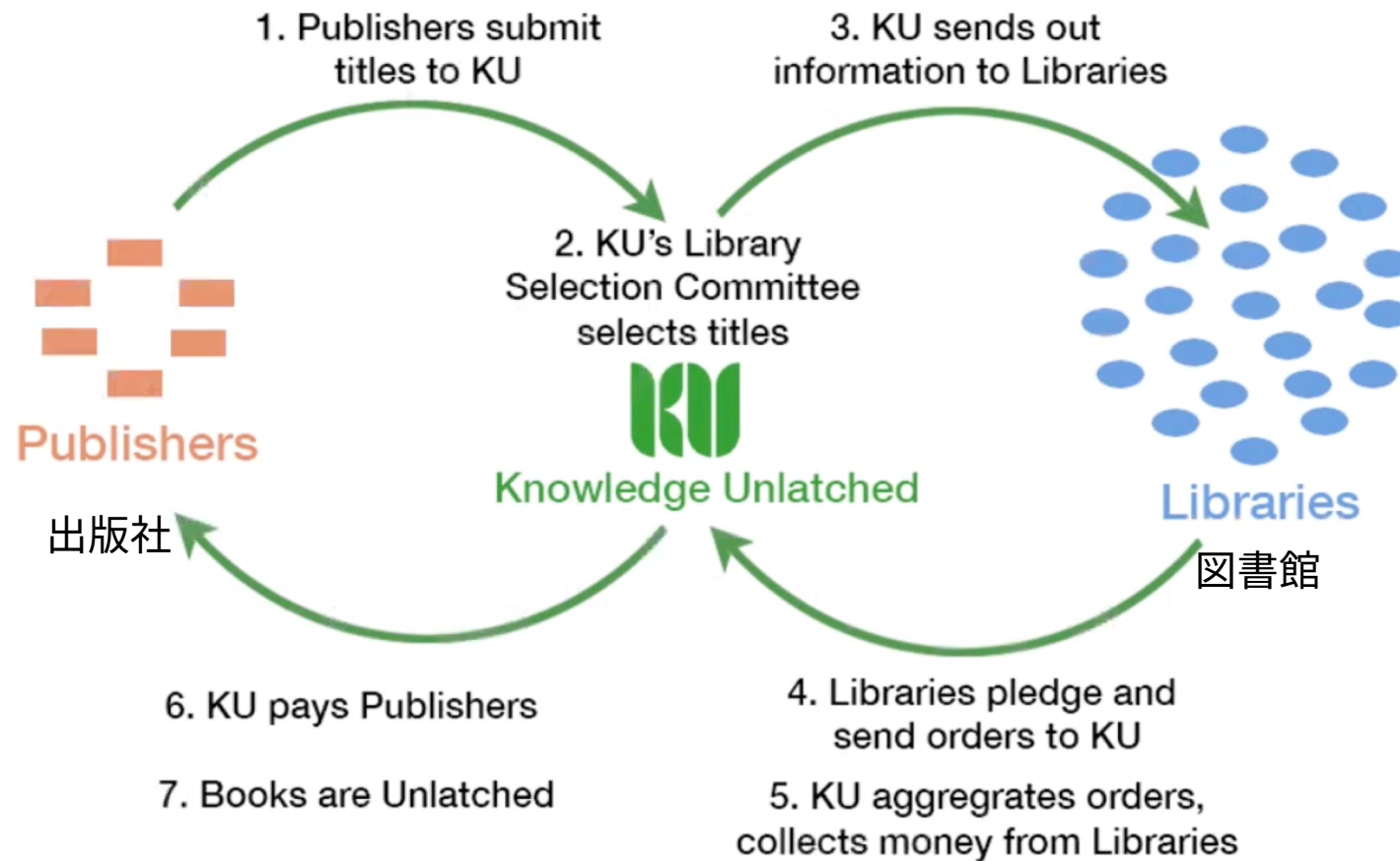


図書館による少額の共同出資でBPCを負担する

プロダクトの購入ではなくプロセスのコスト負担への転換
コストだけでなくベネフィットもシェア

Knowledge Unlatched (KU)

- すでに出版された学術書のBPCを共同出資で支払うことにより遡及的にOAとする取り組み



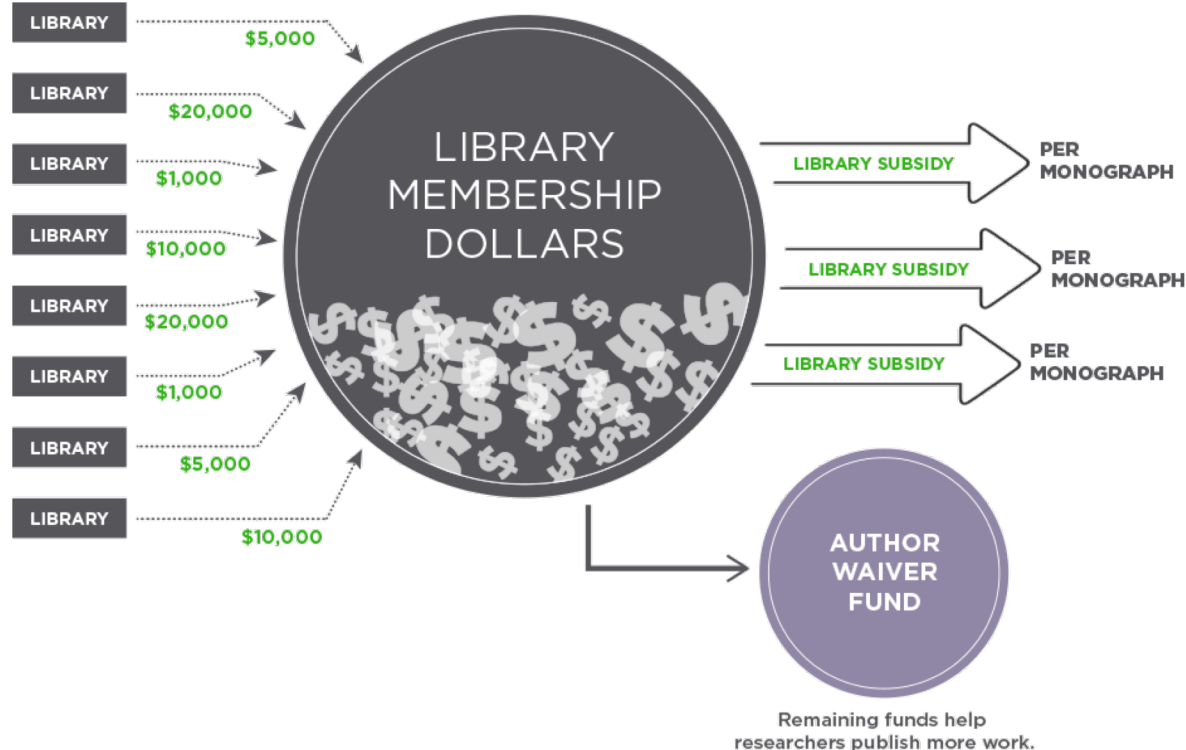
KU Select 2018 HSS Books

- **343** books available:
 - **151 Frontlist titles** (Nov 2018 - Nov 2019)
 - **192 Backlist titles** (2007 - 2017)
 - 19 subject areas within the Humanities and Social Sciences
 - Pledge your support for the full collection at a rate of **\$11,089 // €9,950 // £8,756***
- 1冊あたり
 - \$55 (frontlist)
 - \$14.50 (backlist)
 - 現在283図書館が参加表明



UNIVERSITY OF CALIFORNIA PRESS

Luminos



● 新刊の出版費用に対して図書館から共同出資するカリフォルニア大学出版局の取り組み

- UC Pressが出版すると決めたら出版する
- 助成機関や所属機関から助成金が得られれば著者はそれを出版費用として支払う（たとえば\$15,000の出版費用のうち半分）
- 助成金が得られなくても出版費用の免除を受けられる
- 図書館は、\$1,000～\$19,999の会費を支払う。（いくつかのレベルがあり、紙媒体割引率などの特典が異なる）
- 年間45冊分の人社系の図書出版費用は図書館の会費（プール金）で出版費用をまかなわれる。残りは免除基金となる
- Knowledge Unlatched, Ubiquity Pressと連携

情報流通基盤

- OAPEN
- OASPA
- OPERAS
- HIRMEOS

組織：OAPEN, OASPA



Open Access Publishing in European Networks

- 2008年にオランダでプロジェクト開始
- 査読済みで質の高い学術書のオープンアクセス出版、流通を推進
- 2つの検索サービス
 - OAPEN Library (リポジトリ機能)
 - DOAB
- 欧州研究評議会 (ERC) の研究助成を受けた図書公式デポジット先
- OA学術書の利用調査 / OAPEN-UK
- 多くのOA学術書のプロジェクトのハブ



オープンアクセス学術出版社協会

- 2008年にオランダで設立
- 学術出版をオープンアクセスモデルに変革することを目指した出版社の協会
- オープンアクセスのビジネスモデル、革新的な技術の開発を支援
- 研究公正、出版公正を維持する基準の普及
→メンバーになるための基準が厳しい
 - 著者向けの情報は明確かつ詳細に提供され、ホームページからリンクされている
 - 査読は出版社の外部の人が行う。査読プロセスはウェブサイト明記する
 - すべての出版物にライセンス情報、DOIをつける など

プロジェクト：OPERAS, HIRMEOS



Open Access in the European Research Area through Scholarly communication

- Horizon2020の助成を受けたプロジェクト
- オープンサイエンスを意識しつつ、特に人社系研究における大学主導の学術コミュニケーション活動をコーディネート
- OA出版の共通のベストプラクティスを開発
- DOABを通じて学術書の質保証
- 検索サービスを通じて人社系研究成果の検索可能化と発信を支援
- 人社系研究のインパクト指標の探索
- Multilingualism WGなどさまざまな活動



High Integration of Research Monographs in the European open science infrastructure

- 人社系のOA学術書をEUのオープンサイエンスの標準に合わせる試み。OPERASの子プロジェクトの一つ
- 識別子、ライセンス、アノテーション、利用統計(COUNTER)などをOAPEN, Open Edition, Ubiquity Pressなど既存のプラットフォームに共通に適用し、EUのオープンサイエンス基盤 (OpenAIRE) で提供可能とする

プラットフォーム

● Ubiquity press

- UCLの研究者を中心に2012年に設立
- 図書、雑誌両方を出版
- 出版システムを数多くの学術出版社に提供

The screenshot displays the Ubiquity Press website interface. At the top, the logo 'ubiquity press open scholarship' is visible, along with navigation links for 'Join Mailing List' and 'Publish with us'. The main content area features a book cover for 'OPEN: THE PHILOSOPHY AND PRACTICES THAT ARE REVOLUTIONIZING EDUCATION AND SCIENCE' edited by Rajiv Jhangiani and Robert Biswas-Diener. Below the cover, there are buttons for 'Read Book', 'Download' (with sub-options for EPUB, Mobi, and PDF), and 'Buy Paperback'. A descriptive paragraph follows, highlighting the book's focus on affordable education and open science. Below this, there is a 'How to cite this book' section with a citation example and a 'Get citation' button. A 'License' section indicates the book is under a Creative Commons Attribution 4.0 license. On the right side, there is a 'Recent Activity' section showing a tweet from Rajiv Jhangiani (@thatpsychprof) announcing the new book.

ストックホルム大学出版局

HOME ABOUT BOOKS JOURNALS PUBLISHING MEDIA SERVICE RESEARCH INTEGRITY Search book

STOCKHOLM UNIVERSITY PRESS

Join Mailing List Submit a book proposal

Part of

Aug 2018
Open Access, Copyright and Open Data

Welcome to Stockholm University Press

Stockholm University Press is an open access publisher of peer-reviewed academic journals and books. We aim to make journals and books affordable, and to enable the widest possible dissemination so that researchers around the world can find and access the information they need without barriers. In partnership with our authors and series editors, we publish

Latest News [View more news](#)

21 December You can't buy me... – the value of a year from a non-profit university press perspective
The Stockholm University Press team has in the past year seen the result of the hard work of authors and ...

21 December You can't buy me... – the value of a year from a non-profit university press perspective
The Stockholm University Press team has in the past year seen the result of the hard work of authors and ...

Open Library of Humanities (ジャーナル)

OLH Login Register

Home About Academics News Resources Journals Contact Support OLH

News

Technische Universität Berlin joins OLH LPS model Technische berlin

Featured Journals

C21 Studies in the Material Digital Medievalist Digital Studies / Le champ numérique BAFTS OPEN SCREENS

Penn State 大学出版局 (PSU Press Unlocked)

PENN STATE UNIVERSITY PRESS

BOOKS JOURNALS UNLOCKED RESOURCES ABOUT CART (0) SEARCH

FEATURED UNLOCKED

NEWLY UNLOCKED

Kimbanguism
An African Understanding of the Bible
Aurélien Mokoko Gamlot
Translated by Cécile Coquet-Mokoko

Sri Lanka Journals Online (ジャーナル)

HOME ABOUT JOURNALS

NATIONAL SCIENCE FOUNDATION Sri Lanka Journals Online

Welcome to SLJOL

SLJOL is a database of journals published in Sri Lanka, covering the full range of academic disciplines. The objective of SLJOL is to give greater visibility to the participating journals, and to the research they convey. It is managed by the National Science Foundation of Sri Lanka and was developed in collaboration with INASP.

Press Releases: Please see the [Press releases](#) about articles from recent issues on SLJOL.

There are now 81 journals on SLJOL listing 10,603 articles and 1180 issues have been loaded.

Featured Journals [All Journals](#) Latest News [View more news](#)

AGRIEAST ENGINEER 24 Ruhuna Journal of Science

日本のステークホルダーへの期待

日本のOA学術書出版を推進するために

- まずは技術的にOA出版ができるように
 - ビジネスモデルの試行
 - プラットフォームの開発
- パイロットスタディ
 - OA図書の紙版は売れないのか？
 - アクセス解析により、誰がどのように読むのか知る
- 研究者のニーズを聞き出す／引き出す

ステークホルダーへの期待

- 読者
- 助成機関
- 学術出版社
- 図書館

読者、助成機関

● クラウドファンディング

- 日本の学術書の読者層は研究者だけではないところが強み
- 図書館の共同出資だけでなく、市民からの共同出資を募るビジネスもできるもありうるのでは？

● OAの義務化

- 各種の出版助成プログラムは海外の「著者支払い型」くらいの金額は助成している
- 基盤が整えば、助成の条件としてOAの義務化を視野に入れてもよいのでは？

学術出版社への期待

- プラットフォームの開発
- CCライセンスの導入
- コストシェアリングの仕組みの開発
- 国際的な標準を見据えた情報提供
 - ・ 査読の透明化（学術書の必須要件）
 - ・ 書誌情報、概要の英語での提供
- OASPAに加盟（できるくらいに）
- “絶版”本の情報提供

人社系研究の発展に資するOA出版のビジネスモデルを創出

図書館への期待

- 出版する = Library Publishing
 - ・ リポジトリで紀要を電子化して発信＝すでに出版事業に乗り出している
- 大学出版局と連携してOA推進
 - ・ 大学付きの大学出版局に障害はないはず…
- OA学術書の情報流通基盤の整備
 - ・ OAPEN、OPERASの活動を参考に
- 国際的なコストシェアリングの取組みにフリーライドしない
 - ・ Knowledge UnlatchedやOpen Library of Humanitiesなどに出資する

学術書を「買う」から「生み出す」支援に向けて準備

おわりに

日本の学術書のオープンアクセスを進めることは
日本の人文・社会科学研究的インパクトを高める

- 人文・社会科学研究的国際化
 - ・ 日本語での発信でもよい
- 研究のさらなる可視化
 - ・ 東アジア圏の研究は質、多様性、独自性の面で注目
- 若手研究者や学生のエンカレッジ
 - ・ 資料の入手可能性の向上

KURA

amano@kura.kyoto-u.ac.jp